

花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議からのご意見等への花巻市の考え方等一覧

反映予定区分

A(反映)	意見の内容を踏まえ、素案を修正するもの
B(同一)	意見と素案の趣旨が同一であると考えられるもの
C(参考)	素案を修正しないが、事業の実施段階で参考とするもの
D(困難)	A～Cのいずれも困難であると考えられるもの
-	質問として承るもの

No.	掲載ページ	具体の掲載箇所	区分	意見	意見に対する市の考え方	反映状況
1	人口ビジョン 3	II 人口動向の分析 1 総人口の推移	質問	将来人口目標の設定にあたり、人口減少の要因となる転入減、転出増（社会減）、出生減、死亡増（自然減）の4要素についてどのように目標を設定しているのか。	将来人口目標の算定にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」に準拠した上で、社会増減について純移動率の補正を行い、社会増減の見込みを立てている。自然増減について、死亡数や出生数を目標として設定するのは難しいところがあるため、その内訳までを算定しておらず、計算としては総人口から社会増減を差し引きして、自然増減が算出されるという形になる。 本質的には4要素に基づく考え方が適切と思うが、可能な範囲で推計を行ったもの。	-
2	人口ビジョン 47	IV 将来人口の展望 2 将来人口（フレーム人口）の設定	質問	将来人口目標の算定について、社人研推計の純移動率及び生残率を参照したとのことだが、推計の中で最も少ない人口数で推移する社人研推計の値を参照したのはなぜか。	純移動率及び生残率については、社人研推計が算出した以外のデータが確認できなかったため、当該数値を採用した。ただし、将来人口目標の算定にあたっては、社人研推計の数値をそのまま使用するのではなく、20代の転出抑制と30代のUターン増加を見込んだ純移動率の補正を行った数値により将来人口目標を推計した。	-
3	人口ビジョン 3	II 人口動向の分析 1 総人口の推移 (2) 総人口に対する社会増減と自然増減の影響	質問	死亡数の増加は新型コロナウイルス感染症の影響を含むものか。 また、将来的には、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり死亡の数も抑えられる可能性も加味したものか。	新型コロナウイルス感染症を原因とした死亡者数は不明。全国の状況を見ると死亡者数が昨年増えたことから、新型コロナウイルス感染症の影響もあったものと考えている。 推計では、平成30年の社人研推計を元に計算したため、新型コロナウイルス感染症の影響は加味されていないものと捉えている。	-
4	人口ビジョン 37	3 雇用就業の状況 [人口増減と住民所得]	質問	人口ビジョン中の市町村住民所得は、通常GDPを指すものが多いため、確認願いたい。	ビジョン中の市町村住民所得としているのは、岩手県市町村民経済計算のうち、「人口一人当たり市町村住民所得」であり、市のGDPを指すものではない。人口一人当たり市町村住民所得は、個人に分配する雇用者報酬等に加え、民間法人企業所得や公的企業所得、一般政府（地方政府等）の財産所得等も含む指標である。この指標は市町村間の経済水準の比較等に用いる目的で算出しているものであり、個人の所得水準を表すものではない。 https://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/tkItiran.html/I017/%E5%B8%82%E7%94%BA%E6%9D%91%E6%B0%91%E7%B5%8C%E6%B8%88%E8%A8%88%E7%AE%97#	A(反映)
						出典の記載が「住民所得 岩手県市町村住民所得（令和元（2019）年度）」と記載されていることから、「住民所得 岩手県市町村民経済計算年報（令和元（2019）年度）人口一人当たり市町村住民所得」と修正。 （※）同年報には和川委員より指摘のあったGDPも掲載があるため、より細かく記載することで出典元についての誤解が少なくなる。

花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議からのご意見等への花巻市の考え方等一覧

反映予定区分

A(反映)	意見の内容を踏まえ、素案を修正するもの
B(同一)	意見と素案の趣旨が同一であると考えられるもの
C(参考)	素案を修正しないが、事業の実施段階で参考とするもの
D(困難)	A～Cのいずれも困難であると考えられるもの
-	質問として承るもの

No.	掲載ページ	具体の掲載箇所	区分	意見	意見に対する市の考え方	反映状況
5	第2期総合戦略	第2期総合戦略全般	意見	事務上、反映させることは困難であることを理解したうえで、研究者という立場から意見を述べるが、総合戦略の計画期間を1年延伸するにあたり、数値目標を1年据え置くとすると、既に達成している目標については目標値を上げるという考え方があるのではないかと。	令和3年度の効果検証時において、第2期総合戦略に掲げた目標値を達成している指標、または目標値未達だが基準値を上回っている指標は全体の約3割である。さらに、第2期総合戦略の期間においては、新型コロナウイルス感染症対策として実施した事業が目標数値の達成度に作用したとみられる指標もあり、総合戦略の掲載事業が指標の達成にどの程度寄与したかを踏まえた目標値の設定は難しいと判断した。また、第2期総合戦略の各指標は花巻市まちづくり総合計画と整合性を図っており、令和6年度の指標については現在策定中である次期総合計画との整合性を図る必要があることから、現時点での目標値の設定は困難であるため、令和5年度の目標値を令和6年度に据え置くこととした。	D(困難) 現在新たな総合計画を策定中である状況等を踏まえ、令和6年度の目標値の設定は困難であることから、令和5年度の目標値を据え置く。
6	第2期総合戦略	4 II これまでの取組の成果と課題 1 第1期総合戦略における将来人口目標等の達成状況 (3) 年代別の転出入の状況	意見	10代20代の若者の流出が課題。市内の経営者によると新卒者との接点が不足しているという。この接点をもっと増やすような施策を行っていただけないかと。	市内高校生、大学生等の意向調査などができるか検討していきたい。	C(参考) -
7	第2期総合戦略	26 基本目標2 花巻市への新しいひとの流れをつくる	意見	総合戦略には、新たに若い人を定住させることや働く魅力を伝えること、子育て世代への補助などがあることが書かれている。支援を求めている人に伝える環境があると思うが、若い人が市の取組を知っているかが課題だと思う。プロモーションの手法について検討いただきたい。	市で行っている取組を市民をはじめ若者世代にも情報が届くよう努めたい。	C(参考) -